

# 水戸市内における中学生・高校生の為のキャリア教育支援 —動画によるOB・OGの職業紹介—

教育・研究

課外活動

地域交流

代表者：教育学部 4年 石原 芙美

## 連携先

茨城大学教育学部附属中学校、水戸商業高校、茨城大学教育学部附属中学校及び水戸商業高校のOB・OGが働く水戸市を中心とした茨城県内の企業

## 顧問教員

齋藤 芳徳（教育学部 教授）

## 参加者

石原 芙美（教育学部4年）  
栗橋 真貴（教育学部3年）  
佐藤 庄悟（教育学部3年）  
右島 綾香（教育学部3年）  
石井 莉世（教育学部2年）  
太田 優美（教育学部2年）  
小野村 季子（教育学部2年）  
齋藤 祐依（教育学部2年）  
寺門 歩美（教育学部2年）  
松田 美輝（教育学部2年）  
小林 朋可（教育学部1年）  
杉浦 彰子（教育学部1年）

## プロジェクトの申請内容

### ●プロジェクトの概要

目的：中学生へのキャリア教育支援

目標：生徒が自分らしい働き方や働く場の発

見、進路決定などに繋げることができる職業紹介動画の作成

近年、多様に変化する社会の中で「将来に希望を抱けない」「働く意味が分からない」子どもが増えている。そんな中、子ども達が強く生きていけるように、学校教育に求められているのがキャリア教育である。

キャリア教育は学校と地域・企業が連携することが求められている。しかし、教員の負担が大きく、他の教育活動との両立が難しいのが現状である。また、多様化する職業の情報を子ども達に伝えることは難しくなっている。

本プロジェクトでは、茨城大学教育学部附属中学校（以下、附属中と省略）と水戸商業高校（以下、水商と省略）のOB・OGの職業紹介の動画を作成し、中学生や高校生に閲覧してもらうことで、生徒の自分らしい働き方や働く場の発見、卒業後の進路決定など職業観・勤労観の育成に活かしてもらうことを目的としている。

### ●連携の方法・内容

水戸市を中心とした茨城県内の企業で働く附属中、水商OB・OGに職業紹介インタビューを行う。

水商からはOBを一人紹介していただき職業インタビューを行う。そのOBから次のインタビュー先のOB・OGを紹介していただきそのOB・OGからさらに次のOB・OG

を…と、次々に紹介先を増やしながらか職業数を増やしていく。附属中は昨年度のインタビューを行ったOB・OGの紹介から職業インタビューを行う。

### ●期待される成果

#### ①中学校・高校

- ・授業などで活用してもらうことで、生徒の自分らしい働き方や働く場の発見、卒業後の進路決定に生かすことができる
- ・教員のキャリア教育ツールになる
- ・家庭では、子供の将来の職業や進路に関する話のきっかけとして活用でき、両親の職業の話題にも繋げることができる

#### ②附属中、水商OB・OG

- ・同窓会のネットワークツールになる

#### ③茨城大学

- ・大学生と地元企業との繋がりができる

インタビュー対象者：

茨城大学教育学部附属中学校、水戸商業高校のOB・OG（茨城県内の企業に勤務する人）

撮影場所：OB・OGが働く企業

撮影時間：90分程度

撮影内容：職業インタビュー、  
仕事風景の撮影

紹介：取材時に次の人を紹介してもらう



職業紹介インタビュー

### プロジェクトの実施概要

昨年度に引き続き、職業数の充実に努め、職業インタビューの撮影及びその動画の編集作業までを行う。職業紹介インタビューの撮影では家庭用カメラを使用し、動画の編集では動画編集ソフトを使って職業紹介ビデオを制作する。出来上がったものは、職業紹介ビデオとしてハードディスクにまとめ各学校にお渡しする。

今年度は附属中と水商合わせて30～50職種の収集を目指す。

職業紹介インタビューでは、中高生がビジュアルに仕事を理解できるように「仕事風景」の撮影も行う。

### ●職業紹介インタビューについて

閲覧対象者：

茨城大学教育学部附属中学生  
水戸商業高校生



仕事風景撮影

### プロジェクトの成果報告

#### ●収集済み職業一覧

附属中学校：全43職種

(24年度) 劇団俳優、公設第一秘書、社会福祉法人本部職員、ジャズボーカリスト、生花業、税理士、大学教授、畳店経営・材料卸売業、陶芸作家、宝石鑑定士、ビジネスホテル

## 経営

(23年度) アウトドア用品店経営、アナウンサー、医師、医療機器販売業、紙卸流通業、ギャラリーオーナー、教育委員会、行政書士、ディーラー、建設業、県庁職員、クラシックバレエ教師、高校教員(校長)、国会議員、市議会議員、小学校教員、新聞記者、住職、塾講師、水族館飼育職員、損害保険業、清酒製造業、農業(施設園芸)、百貨店マン、文化施設スタッフ、ホテル業、木材卸・小売業、薬剤師、老人ホーム経営、ラジオディレクター、旅館業、幼稚園理事長

## 水戸商業高校：全20職種

(24年度) 映画による地域活性請負人、ケアマネージャー、警備員、高校教員(情報)、広告業、広告代理店業、商工会職員、消防士、人材コンサルタント、水道設備業、スポーツ施設経営、生花卸売業、ソムリエ、中学教員(教頭)、鉄道職員、俳優、不動産業、水戸大神楽、役場職員、老人ホーム理事長

たくさんの方にご協力頂けたことで、今年度は、附属中・水商合わせて30人31職種の方にインタビュー取材を行うことができた。その他、企業によっては、従業員の方に仕事風景の撮影にご参加いただいた。

## ●年間スケジュール

- 7月 取材方法等検討
  - 8月 インタビュー取材開始
  - 10月 動画編集開始
- (来年度)
- 5月 動画お渡し予定
  - 6月 動画使用予定

7月から取材方法や動画編集の仕方の見直しを行った。8月からは「職業紹介のインタビュー」取材を、10月からは「動画編集」を

開始。今年度撮影した動画は来年度のキャリア教育授業で使用される予定。

## ●質問内容

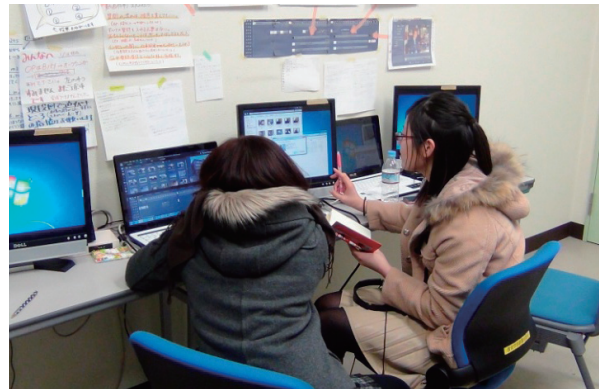
「きっかけ」「仕事内容」「やりがい・面白いこと」「大変なこと」「中学・高校時代のこと」「今後の目標」「メッセージ」の他に、大人たちの考え・生き方・仕事に対する本音等を聞きだし、他の職業紹介ビデオや資料との差異化を図った。

## ●動画の作成

90分に及ぶインタビュー映像は、1つの職業につきshort ver. とlong ver.2種類の動画を作成した。

short ver.は5分程度の動画で、授業内での使用を目的に作成。「こんな職業もあるのか」「もっと知りたい」と「次の行動」を起こせる動画にした。

long ver.は12分程度の動画で、より深く職業やその人について知りたいと思ったときに見てもらう動画にした。



職業紹介動画制作の様子

## ●附属中でのキャリア教育授業の実施

昨年度インタビューを行い、作成した附属中OB・OG職業紹介動画が今年6月より ①職業体験の事前学習の授業 ②帰りの会での視聴 ③教室のパソコンで自由に閲覧 の3つの方法で使用された。使用に関して感想を2

年次の教員5名と2年114名の生徒を対象にアンケートを行った。



キャリア教育授業の様子

教員には動画が教材として役に立ったか(はい・どちらでもない・いいえ)という質問と、使用に関してフリーに感想を書いていた。いただいた。

アンケートの結果、全員が「はい」と回答し、また「職場の方の話はなかなか聞くことができないので、手軽に聞けてよかった」「職業観を育てるために、地位が高い、カッコいいだけでなく、苦勞する部分にも触れられていることが良かった」「OBなので生徒は興味を持って見ていた」といった感想を頂いた。動画が教員のキャリア教育ツールになり、キャリア教育の支援ができていることがわかった。

生徒には(1)動画を見て新しい発見があったか(はい・どちらでもない・いいえ)、(2)将来について考える上で役に立ったか(はい・どちらでもない・いいえ)という質問と、動画に関してフリーに感想を書いていた。アンケートの結果、(1)「はい」70人、「どちらでもない」30人、「いいえ」12人、(2)「はい」69人、「どちらでもない」27人、「いいえ」8人「無回答」2人、という回答でどちらも6割以上の生徒が、動画から発見をした・役に立ったと答えた。また「自分が考えていなかった職業についても知ることができた」「同じ学校にいても沢山将来への選択肢が

あることがわかった」「もっと珍しい職業が知りたい」といった感想をいただき、職業の種類の充実が求められていることが分かった。

## ●今年度得られたもの

### ①キャリア教育授業

アンケートからも分かるように、生徒は将来の職業には色々な選択肢があることに気づき、また仕事の内容だけでなくなかなか聞き出すことのできない大変さや本音の部分に触れることができた。教員はキャリア教育授業のツールとして、動画がとても役立っている。

### ②OB・OGのネットワークツール

この活動をきっかけにOB・OGのネットワークが広がりつつあるのを感じている。また、OB・OGが自分たちの仕事について見直す機会を提供することができた。

### ③大学生と企業の繋がり

企業と繋がったことで、茨城大学生へのアルバイトの紹介や地域団体との交流に結び付いた。

## ●今後の課題

### ①動画の制作

来年度の授業で使用して頂けるように、まだ完成し終えていない動画の編集を引き続き行う。

### ②You-tubeへの投稿

動画を多くの人に見ていただくことで家庭での閲覧では職業についての話題の提供、OB・OG同士ではお互いの近況を知る手段となり、さらなるつながりを深めてもらう。

### ③職業数の充実

生徒の職業観を育てるには、まだまだ多くの職業が必要である。さらなる職業収集に努めたい。